

シルバー大学院15期グループ研究

テーマ:有機農業を考える

「アグリくん」

代表

松岡 圭吾(15期)

副代表

寺本 孝子(15期)

記録

苅谷 逸雄(15期)

総務

藤下 裕史(15期)

総務

今中 英雄(15期)

会計

南部 ユリ子(15期)

原 美知江(15期)

栗山三千子(16期)



有機農業の背景

- ・ 戦後食糧増産のため化学肥料・農薬の大量使用
 - ・ 高度経済成長に伴う公害
- ↓
- ・ 自然環境・農水産物・人体への有害化学物質の残留
 - ・ 農地の地力低下
- ↓
- ・ 消費者の食品への安全・安全安心意識の高まり
- ↓
- ・ 1971年「有機農業研究会」結成
食生活の健全化と環境保全をめざす農法を探求
 - ・ 1973年「兵庫県有機農業研究」発足

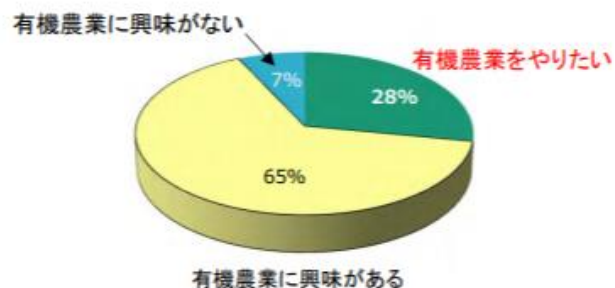
有機農業の現状

＊農水省資料より

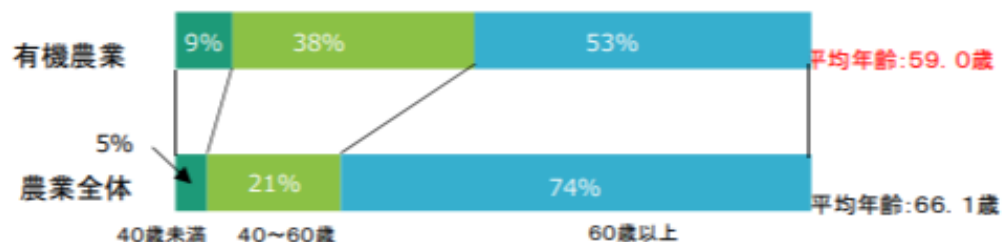
- 有機農業者の平均年齢は農業全体より7歳若い
- 約半数が60歳未満
- 就農希望者の28%が「有機農業をやりたい」と希望
65%が「興味がある」

新・農業人フェアにおける就農希望者の意識（全国農業会議所調べ）

○ 新・農業人フェアにおける就農希望者の意識（全国農業会議所調べ）



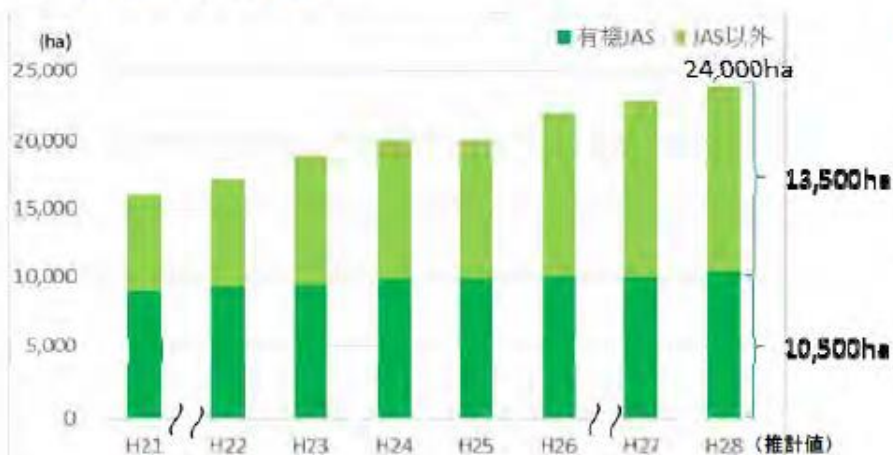
○ 有機農業に取り組んでいる農家数の平均年齢・年齢構成



資料:平成22年度有機農業基礎データ作成事業報告書、2010年世界農林業センサス(基幹的農業従事者)

- 取組面積は耕地面積の0.5%
- 有機農業に取り組んでいる農家数は全体の0.5%

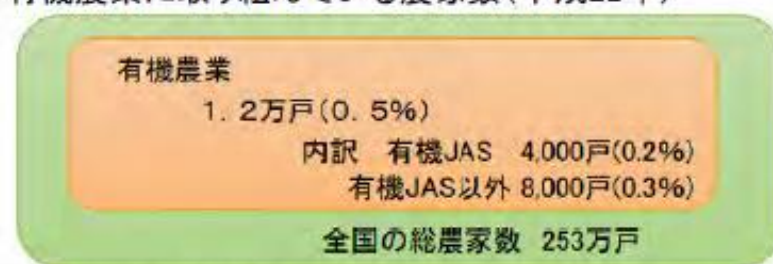
○ 有機農業の取組面積



資料：農業環境対策課推計、食品製造課調べ

注：有機JAS以外の面積は、H21年、22～26年及び27～28年度で、調査・推計方法が異なる。

有機農業に取り組んでいる農家数(平成22年)



資料：2010年世界農林業センサス

平成22年度有機農業基礎データ作成事業報告書、表示・規格課調べ

有機野菜の販売価格 慣行栽培と比較して1.5倍

○ 有機栽培品と国産標準品の販売価格比較(平成28年)

	品目	国産標準品 (円/kg)	有機栽培品 (円/kg)	比率 (%)
根菜類	だいこん	204	315	155
	にんじん	394	685	174
	ぼれいしょ	385	568	147
葉茎菜類	キャベツ	178	291	163
	ほうれんそう	1,072	1,441	134
	ねぎ	669	960	143
	たまねぎ	296	536	181
果菜類	トマト	697	1,078	155
	なす	676	966	143
	ピーマン	959	1,793	187

資料：農林水産省大臣官房統計部「平成28年生鮮野菜価格動向調査報告」(平成29年3月)

注) 1. 全国主要都市(21都市)の並列販売店舗における比較である。

2. 有機栽培品は、有機JASマークを貼付した商品が該当する。

有機農産物のJAS規格

農業の自然循環機能の維持・増進

- ・ 化学的に合成された肥料、農薬を基本的に使用しない
- ・ 土壌の性質に由来する農地の生産力を発揮させる
- ・ 農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減

ほ場の条件

- ・ 周辺から使用禁止資材が飛来・流入しない対策
- ・ 2年もしくは3年農薬などの禁止資材が使われない

種子・苗等

- ・ 有機の種子、苗が原則
- ・ 遺伝子組み換え技術を用いて生産されたものでないこと

有害動植物の防除

- ・ 耕種的防除
- ・ 物理的防除
- ・ 生物的防除

* 左の方法で不可能な場合、許可された農薬・薬剤等を使用できる

肥料、土壌改良剤の条件

- ・ たい肥は、有機のほ場で取れた農産物の残さを原則
 - ・ ほ場にいる微生物などの機能を生かす
- * 上記の方法で困難な場合のみ、許可されたものが使用できる(化学的に合成されたものは不可)

•JASマーク



- 有機JAS規格を満たす農産物に付される
- 有機JASマークが付されていない農産物、農産物加工食品には「有機〇〇」などと表示できない

特別栽培農産物 特別栽培農産物に係る表示ガイドライン

- ・慣行レベルに比べ節減対象農薬の使用回数が50%以下
- ・化学肥料の窒素成分量が50%以下

表示

- ・「特別栽培農産物」表示
 - ・化学合成農薬や化学肥料を使用していない、その削減割合を表示
 - ＊「減農薬栽培」・「無農薬栽培」の表示は 使えない。
- 現在は「特別栽培農産物」に統一

表示の例

農林水産省新ガイドラインによる表示	
特別栽培農産物	
節減対象農薬：○○地域比7割減	
化学肥料(窒素成分)：栽培期間中不使用	
栽培責任者	○○○○
住所	○○県○○町△△
連絡先	TEL○○-○○-○○
確認責任者	△△△△
住所	○○県○○町◇◇
連絡先	TEL○○-○○-▽▽

節減対象農薬の使用状況		
使用資材名	用途	使用回数
○○○	殺菌	1回
□□□	殺虫	2回
△△△	除草	1回

兵庫県食品認証制度

●ひょうご安心ブランド

- ・ 化学的に合成された肥料及び農薬の使用を慣行の50%以上低減
- ・ 農薬を使用した場合、残留量が国基準の1/10以下



●ひょうご推奨ブランド

- ・ 化学的に合成された肥料及び農薬の使用を慣行の30%以上低減



* 農産物：1,271食品(H31.3月現在)

(うち、安心ブランド農産物923、推奨ブランド348)

神戸市では「こうべ旬彩」

- ・ 神戸市内で生産される人と環境の安全に配慮して栽培された野菜
- ・ 堆肥による土づくり
- ・ 化学肥料、化学合成農薬の使用を1/2以下に
- ・ 神戸市中央卸売市場を通じて市内の小売店で販売
- ・ 市内小・中学校給食で利用



調査資料から見えること

生産者側

- 有機農業の比率は低い
- 有機農業でもJAS認証取得は低い
- 出荷先の直接販売の割合が高い

消費者側

- 有機野菜の品揃えに満足していない
- 品揃えが豊富になれば有機野菜を買う
- 「価格」が理由で有機野菜を買わない
- 1～3割の価格上昇を受け入れる



『化学肥料』とは

化学的に合成したものや天然の鉱石や
鉱石の成分を取り出したものなどを混ぜて
「つぶ状」にしたもの。



『農薬の害』



pixta.jp - 15891421

残留農薬

散布した農薬が、農産物、食品、土壌などに残っていること

- ・ 1961年 アメリカ R. カーソン

化学薬品の使用が生態系に長期的な被害を与えることを警鐘

- ・ 1970年1月

母乳の農薬汚染が判明⇒有機農業思想の誕生



農業を勉強する為に 農業を体験しよう



- しあわせの村、しあわせ農場
- 化学肥料、農薬不使用の有機農法
- 指導者はSGS学長の保田先生
- 作業員はSGSのOBと
在校生の有志
- 作業日は1日／月



今までに勉強したこと

有機農法に必要な注意事項

- ・ 肥料は完熟牛糞と保田ボカシのみ使用
- ・ 連作障害防止の為連作は禁止する
- ・ 除去した雑草は敷草として利用する



有機野菜は身体に優しい



- ・農薬を使用しない。
- ・化学肥料を使用しない。
- ・土を育てるので、土に含まれる人間に必要な栄養分を多く含んでいる。
- ・旬の野菜が収穫できる。

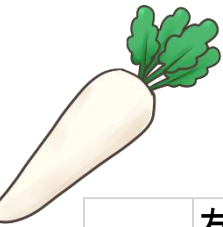
有機野菜と普通野菜の食べ比べ

	ブロッコリー		ミニトマト		セロリ		キャベツ		ダイコン		ニンジン	
	普通	有機	普通	有機	普通	有機	普通	有機	普通	有機	普通	有機
寺本	△	○	△	○	○	△	△	○	△	○	△	○
南部	△	○	○	○	○	△	△	○	△	△	△	○
栗山	△	○	△	○	△	△	△	○	△	○	△	○
原	△	○	△	△	△	×	△	○	△	○	△	○
荻谷	△	○	○	○	△	△	△	○	△	○	△	○
藤下	△	○	○	○	○	△	△	○	△	○	△	○
今中	△	○	○	△	○	○	△	○	△	△	△	○
松岡	△	○	○	○	○	△	△	○	△	○	△	○
産地	兵庫	滋賀	兵庫	熊本	愛知	熊本	—	兵庫	長崎	長崎	兵庫	長崎
価格	¥150	¥360	¥149	¥349	¥158	¥225	≒¥100	¥170	—	—	—	—

神戸市内の有機野菜・加工品販売店

神戸市内の自然食品店&オーガニックスーパー情報

番号	店名	住所
1	自然食品の店ひなたぼっこ	神戸市北区桂木3丁目11-3
2	ナチュラルハウス神戸店	神戸市中央区元町通2丁目7-7
3	オーガニック・ワン御影クラッセ店	神戸市東灘区御影中町3丁目2-1
4	水の子関西板宿店	神戸市長田区庄山町2丁目1-24
5	オーガニック ラ・メール	神戸市中央区元町通1丁目11-21
6	自然食品の店グリーンハウス	神戸市垂水区星陵台1丁目9-9
7	はっばや神戸野菜ごはん	神戸市北区山田町小部大脇山17-1
8	六甲のめぐみ	神戸市西区押部谷町高和字性海寺山
9	めぐみの郷学園南店	神戸市垂水区小束台868-1038
10	めぐみの郷ひよどり台店	神戸市北区ひよどり台南町2丁目7
11	めぐみの郷伊川谷店	神戸市西区伊川谷町潤和1466-1
12	めぐみの郷枝吉店	神戸市西区枝吉2丁目94
13	めぐみの郷塩屋北店	神戸市垂水区下畑町字口唐戸334-1
14	めぐみの郷DUOKOBE店	神戸市中央区東川崎町1-2-3 デュオこうべ浜の手K-60
15	めぐみの郷サザンモール六甲店	神戸市灘区新在家南町1丁目2-1
16	めぐみの郷西神パルティ店	神戸市西区美賀多台9丁目2



有機野菜と普通野菜の価格の比較



有機野菜と一般野菜との価格比較									
NO	品目	N店		H店		M店		スーパー	
		価格	産地	価格	産地	価格	産地	価格	産地
1	リンゴ	¥600	青森県	—	—	¥500	青森県	¥400	—
2	ポンカン	¥482	佐賀県	—	—	—	—	¥350	—
3	セロリ	¥225	福岡県	—	—	—	—	¥260	—
4	小松菜	¥336	奈良県	—	—	—	—	¥100	—
5	大根	¥450	長崎県	¥110	兵庫県	¥150	兵庫県	¥100	—
6	白菜	¥650	宮城県	¥270	兵庫県	—	—	¥250	—
7	トマト	¥552	熊本県	—	—	¥350	長崎県	¥360	—
8	レンコン	¥548	佐賀県	—	—	—	—	¥200	—
9	ニンジン	¥298	長崎県	¥170	長崎県	—	—	¥100	—
10	ジャガイモ	¥301	北海道	—	—	—	—	¥150	—
11	タマネギ	¥298	北海道	¥280	北海道	¥270	北海道	¥100	—
12	ブロッコリ	¥450	和歌山県	—	—	—	—	¥180	—
13	キャベツ	—	—	¥158	兵庫県	—	—	¥200	—
14	ミズナ	—	—	¥216	—	—	—	¥80	—
15	菊菜	—	—	¥216	—	—	—	¥120	—
16	カブ	—	—	¥314	—	—	—	¥150	—

ま と め



安全安心で栄養価の高い有機農産物を普及させねばならない、それには消費量を増やすことが大事でしょう。

今後の研究は、有機農産物の生産・流通・販売拠点等の問題を研究する予定です。



ご清聴ありがとうございました